

第5学年2組 学級活動（1）指導案

令和5年6月26日（月）第5校時

指導者 池田 寿子

在籍数 計38名

1 議題「1学期 頑張ったね会をしよう」

2 議題について

（1）児童の実態

本学級の児童は、明るく活発で、友達と元気に遊ぶ姿が多く見られる。その反面、友達のちょっとした言動を強く非難したり、些細なことでも譲り合えずにトラブルになってしまったりすることがある。学級活動の話し合いの進め方については、4年生までの経験からほとんどの児童が理解している。また、5年生になってからも学級会オリエンテーションを行い、学級会の進め方や話し合いの約束などについて共通理解を図った。その後、「5年2組よろしくの会をしよう」や「係の活動を充実しよう」などの議題で話し合いを積み重ねてきた。これらの活動を通して、児童みんなで協力して実践する楽しさを味わってきた。しかし、時間が延びてしまったり、発表することに消極的な児童もいる。また、うまく折り合いをつけられずに、話し合いの難しさを感じている児童がいるという現状がある。

（2）議題選定の理由

議題選定の際には、「夏祭りをしよう」と「1学期頑張ったね会をしよう」の2つが提案に出た。しかし、2学期にふれあい祭りがあるため、今回は1学期のまとめにふさわしい会を協力して行いたいという児童の願望から本題材が選定された。

本議題では、「どんな遊びをするか」「どんな工夫ができるか」「役割分担」という3点について、互いの意見を尊重し合いながら、協力して計画を立て、実践することを通して、学級内の人間関係を深めるとともに、自分たちの力でよりよい学級生活をつくっていかうとする自治的能力や自主的、実践的な態度を高めていきたい。

3 研究主題との関わり（目指す児童像とつけたい力及び目指す児童像に迫る手立て）

研究主題

心豊かに生きる ～より良い人間関係を築く力の育成～

【目指す児童像】

計画・司会・進行	発表	聞く
協力して活動計画を作り、話し合いの方法を工夫して効率的、計画的に進行することができる子	学級や学校生活に目を向けて自分の言葉で建設的な意見を述べる子	多様な意見を受け入れ、そのよさを生かしながら楽しい学級、学校生活のためによりよい合意形成を図ることができる子

【つけたい力】

計画・司会・進行	発表	聞く
<ul style="list-style-type: none"> ・協力して活動計画を作る ・話し合いの方法を工夫して効率的、計画的に進行する 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級だけでなく学校生活に目を向けて意見を言う ・自分の言葉で建設的な意見を述べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な意見のそれぞれのよさを受け入れる ・楽しい学級、学校生活のためによりよい合意形成を図る

【目指す児童像に迫る手だて】

＜計画・司会・進行＞

- ・話合いの流れや時間などについて確認するよう助言し、児童が学級会当日の話合いを、自信をもって進めていくことができるようにする。
- ・一部の児童だけで話合いが進んでいるときには、学級会ノートを見直させたり、話合いのめあてに立ち返らせたりして、多くの児童が自分の意見を発表する機会を増やすようにする。
- ・話が混乱しないよう、話し合うべきことが理解できるよう、出てきた問題は青の短冊に書き、それに対する解決策の意見は黄色の短冊に書いて黒板に掲示する。

＜発表＞

- ・議題に対する自分の考えを明確にして、個人的な趣味や好みだけにとらわれず、広い視野で発言できるようにする。
- ・学級会ノートに書いた意見に対し、事前に発言を促すような助言を書き、自分の意見に自信をもたせる。
- ・反対意見を言うときは、代案を言えるようにする。

＜聞く＞

- ・質問を通して多様な意見のよさを見つけたり受け入れたりできるようにする。
- ・話し合いの約束を大型モニターで提示して、常に確認できるようにする。

4 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 合意形成の手順や深まりのある話合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

5 事前の活動

日時	児童の活動 ○計画委員会 ●全員の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】（評価方法）
6月15日 (木) 昼休み	○議題の選定をする。	・学級生活の充実や現在のクラスの議題に適しているかを考えさせる。	◎学校生活をよりよくするために、進んで議題を考えたり、選んだりしようとしている。 【態】（提案カード・観察）
6月15日 (木) 帰りの会	●議題の決定をする。	・計画委員の提案を基に全員で決定する。	
6月16日 (金) 20分休み	○活動計画を作成する。 (提案理由・めあて・話し合うこと・役割分担)	・提案理由に沿っためあてが考えられるようにする。 ・みんなが納得できる提案理由になるよう提案者に助言する。	◎1学期頑張ったね会の目的に合った意見を考え、判断し、ノートに書くことができる。 【思・判・表】 (学級会ノート)

6月16日 (金) 帰りの会	○話し合うことをみんなに知らせる。	・決まっていることを共通理解できるようにする。
6月19日 (月) 学活の時間	●学級会ノートを記入する。	・提案者に沿った意見が考えられるよう助言する。
6月21日 (水) 20分休み ・昼休み	○話し合いの計画を立てる。 ○全員の学級会ノートを見て、意見をまとめる。	・意見を短冊にまとめるよう助言する。 (出し合う)
6月22日 (木) 朝の会	●「出し合う」をする時間を行う。	・事前に「出し合う」をし、当日は「比べる」からスムーズに入れるようにする。

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

1人1人の頑張りをみんなで認め合えるような楽しい会の計画を考えることができるようにする。

(2) 児童の活動計画

第3回 6/26 学級活動計画書			
ざらい	1学期がんばり、たの会をしよう。		
ていあん者	さん		
提案理由	高学年になって、それぞれの委員会や部活動などみんなが力を合わせて頑張りました。だから認め合える場が少なかった。なので、この会を行うことでみんなの話を聞き、よいところやよいところを認め合える場を作りたい。		
決まっていること	7/10(日) 4時間8 教室		
話し合いのめあて	(みんなの元気で頑張りをみんなで認め合えるような楽しい会を作ろう)		
やくわり	司会	原 貴子	黒板 藤原 謙一
分	担任	清水 裕	記録 藤原 謙一
話し合いのじゃま	時間	気をつけること	資料
1 はじめの言葉	1分	大きな声ではっきり言う。	委員会
2 計画委員の紹介	1分	自分のめあてを言って自己紹介をする。	
3 ざらいの確認	1分		
4 ていあん理由の説明	1分	大きな声で言う。	
5 話し合いのめあてのかくにん	1分		
6 話し合うこと			
① どんな話をしようか	10分	決まっていることを考え、話し合いのめあてに合うもの(自分の考えを出してもらう)理由をはっきり言ってもらえる。	学級会ノート
② どんな工夫をしようか	15分	提案理由を考えた話し合いのめあてに合う、2時間5分を予定する。	
③ 役割分担	10分		
7 決まったことの発表	1分	話し合い委員が(は.り)と伝える。	
8 ふりかえり	3分	時間が長くて3人に発表してもらった。	
9 先生の話			
10 おわりの言葉	1分	大きな声ではっきり言う。	

7 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
6月27日(火) 昼休み	<ul style="list-style-type: none"> 決まったことを学級会コーナーに掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級会で決まったことの要点をまとめて書けるよう計画委員に助言する。 	◎準備や集会に進んで取り組もうとしている。 【態】(観察) ◎集会の目的を考え、友達と協力し責任をもって準備したり参加したりしている。 【思・判・表】 (観察・振り返りカード・感想文)
6月29日(木) 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> 役割を確認し計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって全員で協力して活動できるようにする。 	
6月29日(木) ～7月7日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 係ごとに協力して準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要なものや準備の内容など適宜教師が助言する。 準備の進捗状況を途中で確認し、活動の意欲の継続化を図る。 	
7月10日(月) 4校時	<ul style="list-style-type: none"> 「1学期頑張ったね会」を行う。 		